

## 第5回 グリーンドーム前橋等運営検討委員会市長報告

日 時：平成31年3月27日（水）

午後4時00分から

場 所：前橋市役所3階32会議室

これまでに5回の運営検討委員会を公開として開催し、競輪事業をはじめとするグリーンドーム等の運営方式について協議を行ってまいりました。

本日は、最終的な協議結果をとりまとめた「競輪事業等運営方式の基本的な考え方」を市長さんにご報告したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは資料の28ページをご覧ください。

本委員会では、本市の人口構造と財政状況、競輪事業等の運営状況や民間委託をしている先行場の調査結果等をふまえ、持続可能な競輪事業の運営方式を追求し、現行の直営方式と民間活力を有効活用した官民連携方式の可能性について、検討を重ねてまいりました。

その上で、比較評価、さらには財政運営のシミュレーションを取りまとめ、次のとおり基本的な考え方を報告することとし、速やかに実現に向けた改革の遂行を提案します。

1、公営事業として存続していくため、競輪開催業務については、行政だけではできない民間事業者の持つノウハウを積極的に活用し、より効率的な事業運営を実現すること。

また、グリーンドーム前橋の「公の施設」である会議室等の貸館事業については、当面、市が直営で運営していくことが好ましいと考えます。

2、連携する事業者は、価格評価だけでなく、競輪事業の業務効率化、売上向上策はもとより、それを補完するファンサービスの充実や顧客層の拡大策、さらには、来場者の増加に繋がる新たな事業展開も含めた総合的な提案募集をもって評価・選定すること。

3、官民連携方式の実施に向け、適正な業務の遂行はもとより、来場者や選手関係者等に影響が及ばぬよう十分な準備を行い、スムーズな移行に留意すること。

4、施行者及び施設管理者として責務を効果的・効率的に遂行するため、競輪開催業務に係る職員数の適正化を図り、業務管理や施設管理、貸館事業等の組織体制を再編整備すること。

以上、今後も前橋競輪が収益確保を継続し、公営事業として健全財政への一助となり市政運営に寄与していくためには、民間活力と共存・連携していく時期に来ています。

民間と行政との役割分担を明確に整理し、官民連携方式により各々の活力を有機的かつ最大限に活かしながら、グリーンドーム前橋の再生、ひいては、人が集まるまちなかのにぎわい拠点とし、まちづくりに繋げていくことを期待します。

平成31年3月27日グリーンドーム前橋等運営検討委員会一同。

以上です。